



報道発表

2019年3月8日

株式会社 Luxonus への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 Luxonus（以下「Luxonus」）（本社：東京都港区、代表取締役：相磯貞和）に対する投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

Luxonus は光超音波イメージング技術（Photo Acoustic Imaging=PAI）を応用した新規撮影装置の実用化を目指すベンチャー企業です。同社は 2018 年 12 月に設立されたばかりの企業ですが、その基盤となっている研究成果は、京都大学とキヤノン株式会社との共同研究である「京大-キヤノンプロジェクト」（2006 年度～2015 年度に実施）及び科学技術振興機構による革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の「イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出」（2014 年度～2018 年度に実施、京都大学や慶應義塾大学が共同研究機関として参加）から創出されました。

PAI とは生体にパルス光を照射した際に発生する超音波を特殊な形状を持つセンサーで補足し、受け取ったデータをコンピュータにより画像化する技術を指します。PAI で撮影できるのは血管やリンパ管といった脈管で、既存の撮影技術である超音波、X 線コンピュータ断層撮影（CT）、核磁気共鳴画像（MRI）などと比較して、無被ばく、非侵襲（造影剤を使用しない）で超高解像度（0.2mm）のリアルタイム 3D 撮影が可能な点に特長があります。また、血流の酸素飽和度分布を測定できる点にも PAI の優位性があります。

PAI 装置のプロトタイプ機は ImPACT により試作済みで、京都大学と慶應義塾大学にそれぞれ 1 台ずつを設置しており、両大学は乳がん、リンパ浮腫、末梢動静脈疾患、皮膚疾患などの疾患を対象にこれまでに約 250 症例の臨床試験を実施しています。今後 Luxonus は、量産機の開発に取り組み、2021 年に実験用機器として、2022 年には医療機器としての発売を目指します。

京都 iCAP では、早期診断や術前診断、治療効果確認がこれまで困難だった疾患に PAI 装置を導入することで各疾患の治療成績が改善される可能性に期待し、株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ、株式会社日本医療機器開発機構と共にシードラウンドにおける投資を実行いたしました。



株式会社 Luxonus (ルクソナス) 概要

設立 2018年12月
事業内容 光超音波技術を応用した画像撮影装置の製造・販売
本社所在地 東京都港区
代表取締役 相磯貞和

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 概要

慶應義塾大学の研究成果を活用したベンチャー企業への投資を目的としたベンチャーファンド（慶應イノベーション・イニシアティブ1号投資事業有限責任組合）を運用。
本社所在地 東京都港区
代表取締役 山岸広太郎

株式会社日本医療機器開発機構 概要

日本のアカデミアやスタートアップ企業と連携し、医療機器製品等を事業化する国内初のインキュベーター。
本社所在地 東京都中央区
代表取締役 内田 毅彦

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014年12月に国立大学法人京都大学の100%出資子会社として設立されました。当社は、2016年1月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間15年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL：075-753-5303 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp